



第3問 答案用紙<1>
(会 計 学)

問題 1

問 1

表 41.5 偏・50

① ㇀	㇁	② ㇂	㇃	③ ㇄	㇅
④ ㇆	㇇	⑤ ㇈	㇉	⑥ ㇊	㇋
⑦ ㇌	㇍	⑧ ㇎	㇏	⑨ ㇐	㇑

問 2

① 販売目的で所有するケース:	棚卸資産
自己使用目的で所有するケース:	有形固定資産
② 理由:	不動産業者が販売目的で所有する工地的な企業に通常の営業目的で所有してあり売却して投資収益を収める。そのため取得原価、回収可能な下限、この場合は正味売却価額を売却時に投資収益と見做す。売却予定は有り、自己使用目的で所有する場合、事業投資として市場の期待以上の企業価値を期待しているため、市場に反映させ、同業株として取得原価で表示すること、売却発生時の損益を正味売却額と見做す

方向性は出ている



第3問 答案用紙<2>
(会 計 学)

問題 2

問 1

この数字は病む。

① 自己株式	② 804,860 千円	③ 2,280 千円
④ 198,000 千円	⑤ 30,000 千円	⑥ 1,820 千円
⑦ 2,100 千円	⑧ 5,184 千円	

問 2

結論はOK

(1) 損益計算表、損益引当は原則貸借対照表の貸方、貸借対照表の貸方は負債の増加を意味する。
 期末貸借対照表の純資産の増減は、変動をみる。貸借対照表の期末と期首の差をみる。
 上記の数字は37の数字は、相互に連なっている。相互関係の理解を向上させる。

(2) 当期純利益と同様の価値を包括利益に含めることは、株主資本以外の評価。
 換算差額の変動の事柄は、当期純利益の減少を示す。活動の価値的効果は
 把握しきれない。包括利益を純資産の増減に含めることは、
 当期純利益の増減を示す。当期純利益の増減を示す。

典型の数字は、やや不協和。

評 点



第4問 答案用紙<1>
(会 計 学)

問題 1

問 1

素 29

借 55.9

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)X1年 2月1日	前払金	1500	現金	1500
(2)X1年 3月1日	売掛金	3000	売上 前払金	2625 375

問 2

- (1) ① 企業が顧客との契約における義務を履行するために必要な
現金を支払った
② 企業が、顧客との契約における義務を履行するために必要
となる売上及び資産の増加、負債の増加の機会、顧客の信用を配付、
③ 顧客との契約における義務を履行するために別の用途に転用した
現金の増加
④ 企業が顧客との契約における義務を履行するために必要となる
現金の増加、顧客の信用を配付

意図不明

- (2) (X) 工事) 契約 (X) ソフトウェア開発) 契約

問題 2

問 1

(1) 法定実効税率 = 法人税率 (1 + 地方法人税率 + 住民税率) + 事業税率

(2) 税務上の一時差異を生じる場合や、評価上の子会社の場合、実効税率と税率の
差を考慮する

問 2

法人、税率を再計算し、差額を繰上り、評価差額に直接計上する



第5問 答案用紙<1>
(会 計 学)

問題 1

表 21

偏 45

① <input type="radio"/> 9人	② <input checked="" type="radio"/> 7.800	③ <input type="radio"/> 60
④ <input checked="" type="radio"/>	⑤ <input checked="" type="radio"/> 89.100	⑥ <input type="radio"/> 決算日
⑦ <input checked="" type="radio"/> △12.870	⑧ <input type="radio"/> その他, 包括利益累計額	⑨ <input type="radio"/> 176.000
⑩ <input type="radio"/> 100.800	⑪ <input checked="" type="radio"/> 224 720	⑫ <input checked="" type="radio"/> 有価証券売却益
⑬ <input checked="" type="radio"/> 0		

問題 2

(単位：千円)

① <input type="radio"/> 847.500	② <input checked="" type="radio"/> 1920.140	③ <input checked="" type="radio"/> 148.500
④ <input checked="" type="radio"/> 408.050	⑤ <input checked="" type="radio"/> 261.180	⑥ <input checked="" type="radio"/> 79.200
⑦ <input type="radio"/> 5955	⑧ <input type="radio"/> 600.000	⑨ <input checked="" type="radio"/>
⑩ <input checked="" type="radio"/>		

問題 3

問 1

(1) <input type="radio"/> △19.200 千円	親法在法心表
(2) 現行。会計基準は株主間の取引に関し、経済的単一体説に立ち非支配株との取引・企業内部の株主間の直接取引を除き、原則として親法在法心表に反映する関係にある子会社株主間の取引は、資本取引として指差又認識せず、対価対価の非支配株主持分S減額し、追加取引は増加分を親法在法心表に追加する。追加取引は増加分を親法在法心表に追加する。追加取引は増加分を親法在法心表に追加する。	

